



平成21年4月27日

各位

会社名 東洋紡績株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 坂元 龍三  
 (コード番号 3101 東証、大証一部)  
 問い合わせ先 IRグループ長 竹内 郁夫  
 (TEL 06-6348-4210)

業績予想の修正および特別損失の計上ならびに  
 繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、平成21年3月期決算において計上する見込みの特別損失および繰延税金資産の取崩しについてもあわせてお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

(単位:百万円)

## (1) 平成21年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A) (平成21年2月6日発表)	375,000	15,000	8,000	△ 8,500	△ 12 18
今回修正予想(B)	367,300	11,200	2,100	△ 12,500	△ 17 89
増減額(B-A)	△ 7,700	△ 3,800	△ 5,900	△ 4,000	
増減率(%)	△ 2.1	△ 25.3	△ 73.8	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	431,417	27,075	21,049	4,698	6 73

## (2) 平成21年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
					円 銭
前回発表予想(A) (平成21年2月6日発表)	210,000	9,000	6,000	△ 3,000	△ 4 29
今回修正予想(B)	201,200	6,600	3,600	△ 9,000	△ 12 89
増減額(B-A)	△ 8,800	△ 2,400	△ 2,400	△ 6,000	
増減率(%)	△ 4.2	△ 26.7	△ 40.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	259,780	19,250	19,318	3,508	5 03

## (3) 業績予想の修正理由

一段の経営環境の悪化と環境変化に対応した減産の強化に伴う操業差損の拡大等により、営業利益および経常利益が前回発表予想から減少する見込みとなりました。また、上記に加え、当期を仕上げの年と位置付けて進めてまいりました事業構造改革の徹底による特別損失の計上および後述の繰延税金資産の取崩し等により、当期純損失につきましてもその損失額が前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

なお、繰延税金資産の取崩しは、足元の厳しい経営環境を前提とした会計上の処理によるもので、キャッシュフローには影響を及ぼさず、また、事業構造改革の仕上げや棚卸低価法の厳格適用により、貸借対照表上の将来リスクを大幅に減少させることができました。これに加え、既の実施しております役員報酬等の減額を含めたコスト削減の徹底などにより、今後は厳しい環境下でも利益とキャッシュフローを確保できる見込みでございます。このため、当期の期末配当金につきましては、前回予想通り、1株当たり3円50銭とさせていただきます見通しでございます。

## 2. 特別損失の計上

中国における包装フィルム事業会社(上海紫東化工材料有限公司)の当社持分の売却を予定しており、平成21年3月期決算において、出資金評価損、貸倒引当金繰入等の特別損失を約16億円(連結ベース、個別では約26億円)計上する見込みでございます。

## 3. 繰延税金資産の取崩し

足元の厳しい経営環境を踏まえ、当社および一部の連結子会社の繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、平成21年3月期決算において、繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等調整額を約25億円(連結ベース、個別では約39億円)計上する見込みでございます。

以 上

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。